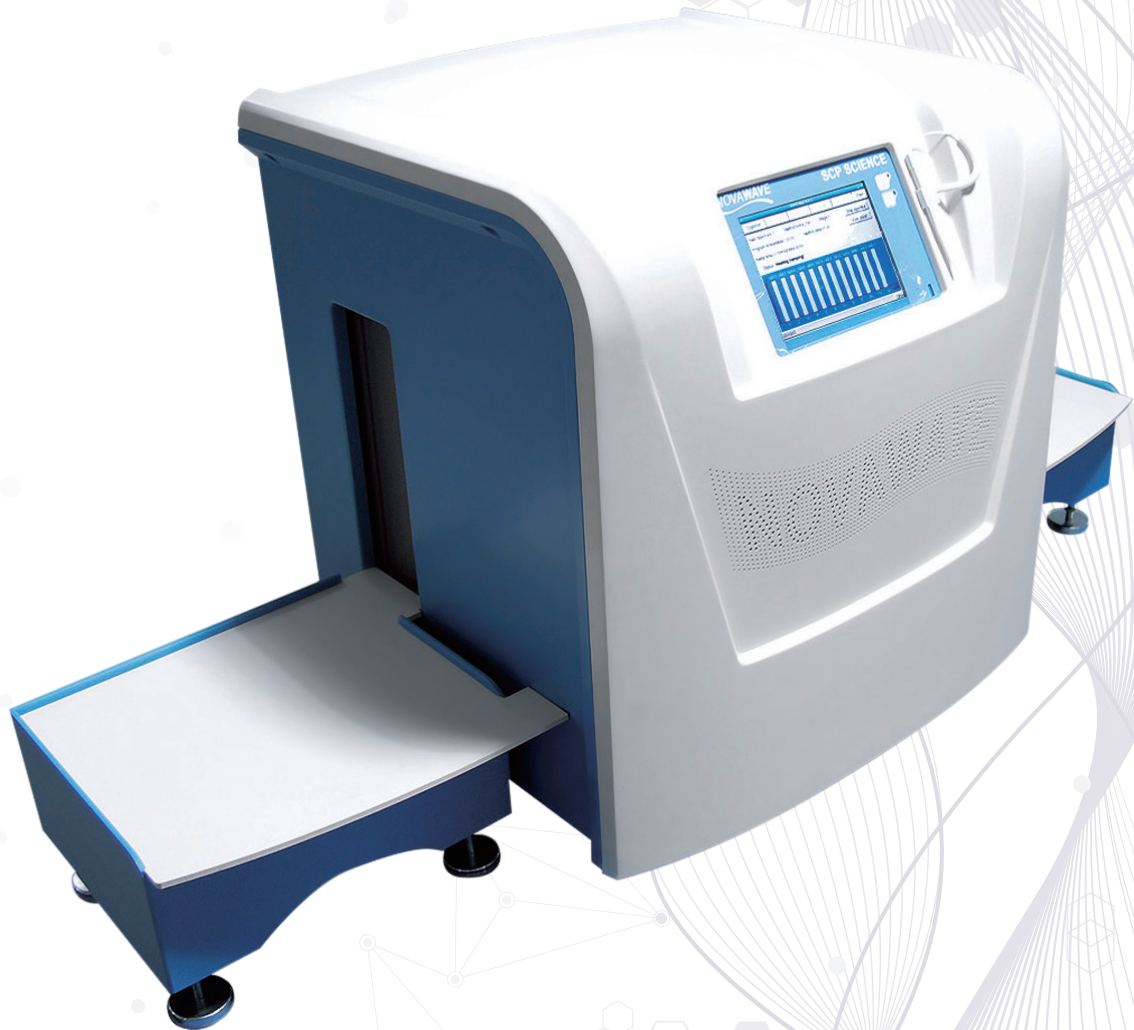


自動マイクロ波試料分解システム

ノバウェーブ
NovaWAVE

A NEW CATEGORY OF AUTOMATED MICROWAVE DIGESTION

革新的な安全性とハイスループット



石油



食品



土壌



水質



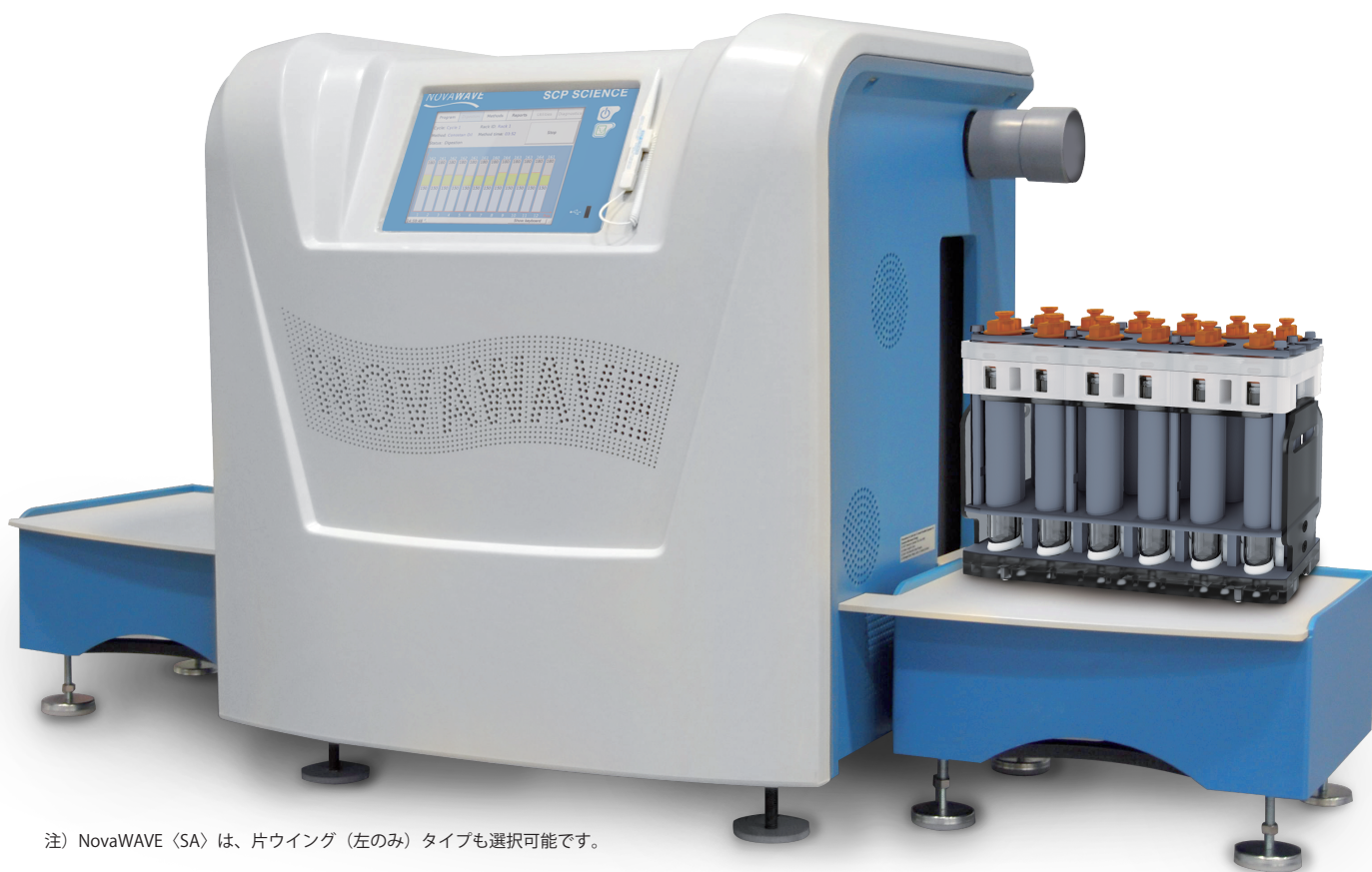
薬

ノバウェーブ NovaWAVE

モデル SA

Stand Alone

自動マイクロ波試料



注) NovaWAVE (SA) は、片ウイング (左のみ) タイプも選択可能です。

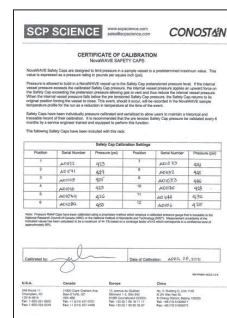
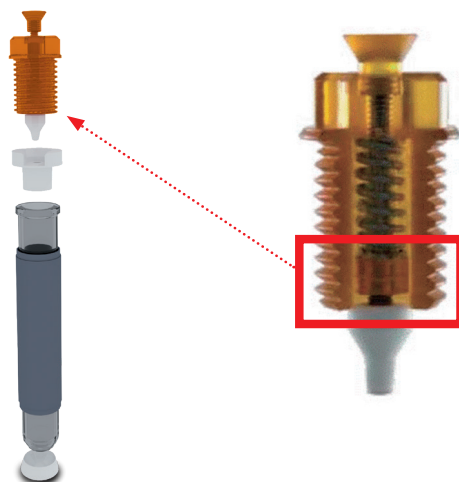
高い安全性

安全に分解できる設計

マイクロ波試料分解装置で起こる事故は主として、容器内でガスが逃げず、容器の劣化した場所からガスが高圧で抜けてしまったために起こります。

NovaWAVE の密閉分解用の容器は、容器内の圧力が一定圧力以上 (500 psi) になると内部のガスをリリースする設計となっており、高い安全性を誇ります。

500 psi という圧力は、サンプルを安全に分解できる圧力です。



セーフティキャップ
圧力検査 CERTIFICATE Seat

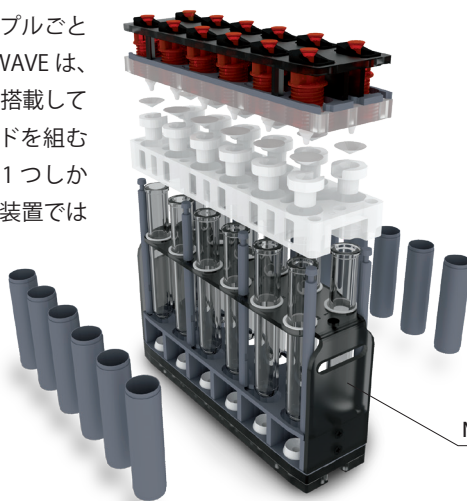
分解装置 NovaWAVE 〈SA〉

圧力と温度コントロールによる安全機構

石英または PFA 分解容器が利用可能

異なるサンプルも同時に分解可能

食品サンプルや樹脂サンプルなど、サンプルごとに酸と温度による反応性は異なるため、サンプルごとの分解メソッドが必要となります。NovaWAVE は、マイクロ波を出力するマグネトロンを 12 ケ搭載しており、一回のサイクルで 12 通りのメソッドを組むことができます。これはマグネトロンが 1 つしか搭載していない従来のマイクロ波試料分解装置ではできないことです。

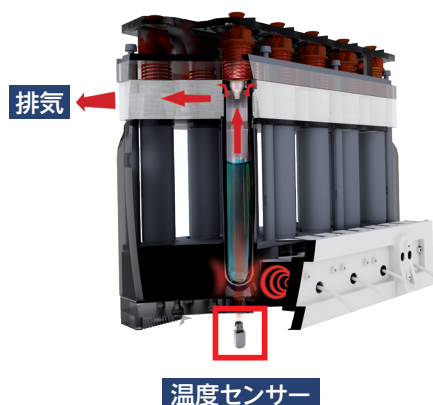


NovaWAVE 用サンプルラック

- 分解容器を 12 本セット可能
- シンプルな設計のため、容易にサンプリング可能

各容器の温度をモニターし、温度状況によってマイクロ波出力を自動調節

NovaWAVE には、容器 12 本に対して 12 ケの温度センサーと 12 ケのマグネトロン（マイクロ波を照射するためのもの）を搭載しています。各容器の温度を個別にモニターし、その温度状況によってマイクロ波の出力を自動で調整します。そのため、容器ごとの温度ムラを抑制することができ、安全に、また再現性良く酸分解を行うことができます。



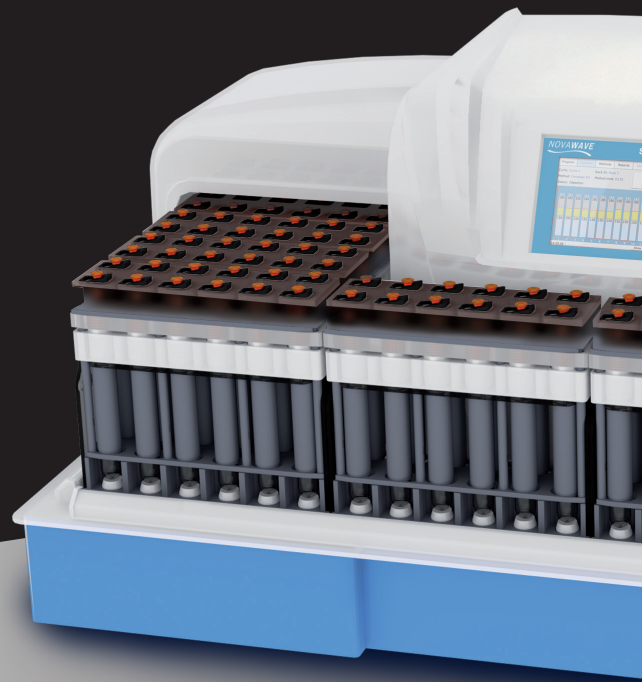
装置内にガスが滞留しない構造

ノバウェーブ NovaWAVE

モデル FA

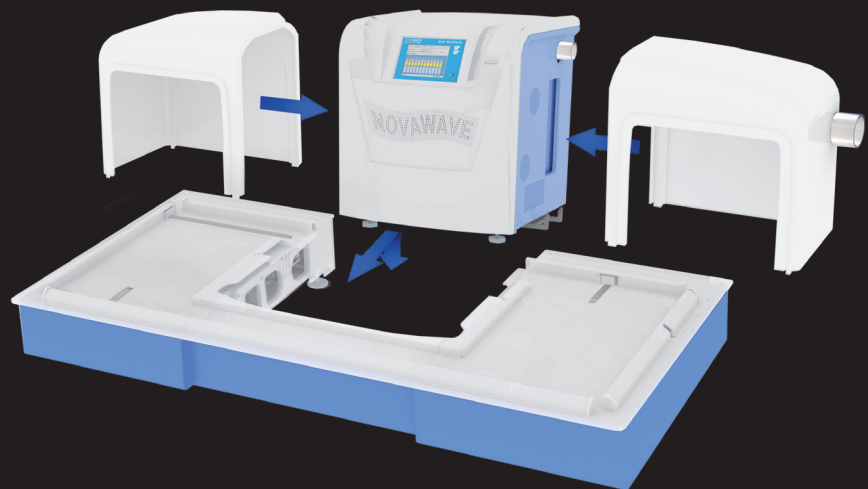
Full Automation

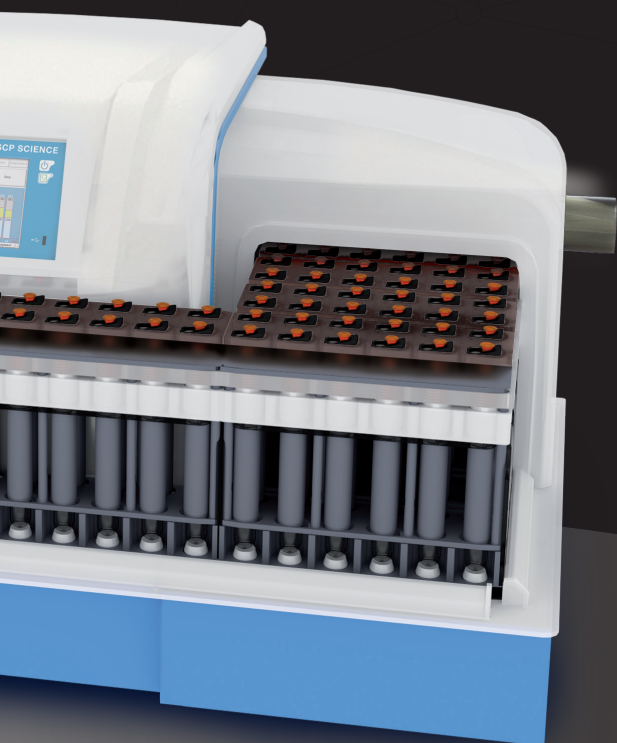
SAの機能そのままに
ハイスループットに



SAからFAへ

処理する検体が多くなった場合、SA (Stand Alone) をベースにFA (Full Automation) へ多量検体処理用にシステムアップすることが可能です。

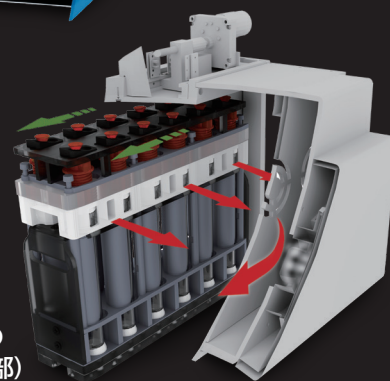




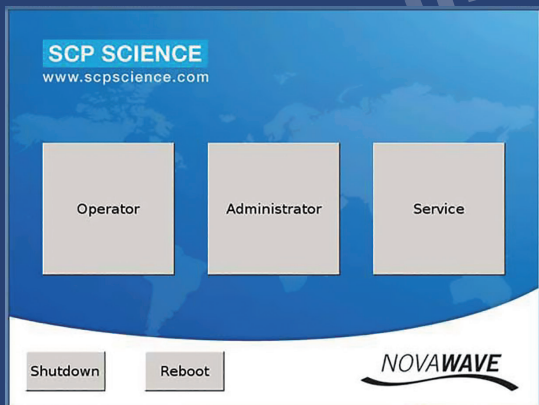
12 検体用ラックが最大 14 セットでき、
各ラックは自動搬送され、連続自動処理が可能です。

自動冷却と自動排気

処理された試料は、一定の温度以下になるとラックごと搬送部に運ばれ、冷却されます。冷却されている間、次のラックが酸分解部に運ばれる設計のため、処理時間を短縮しています。

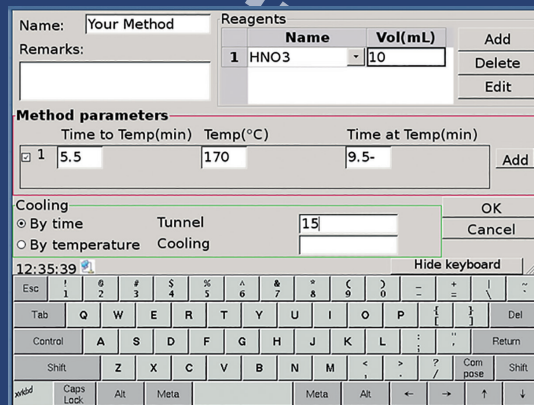


酸蒸気の流れの
イメージ (搬送部)

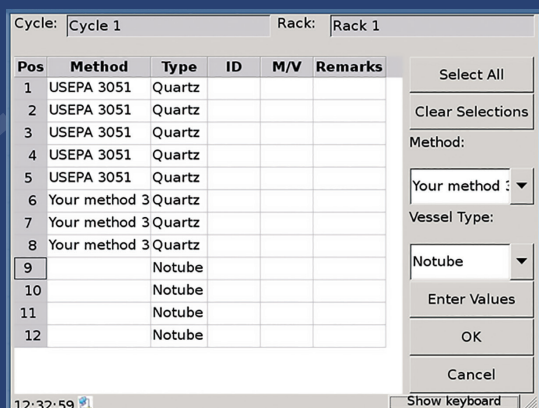


権限の割り振りが可能

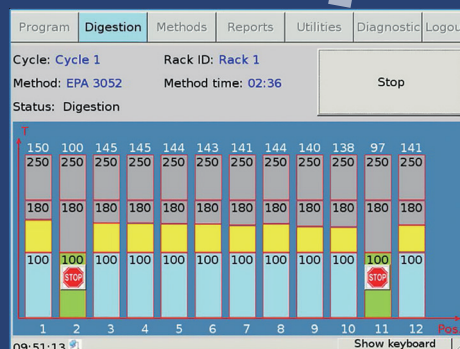
- 専用 PC 不要
- 権限の割り振りが可能 (Admin、Operator)
- 各容器ごとに使用するメソッドを選択可能



容易に昇温メソッドを作成可能

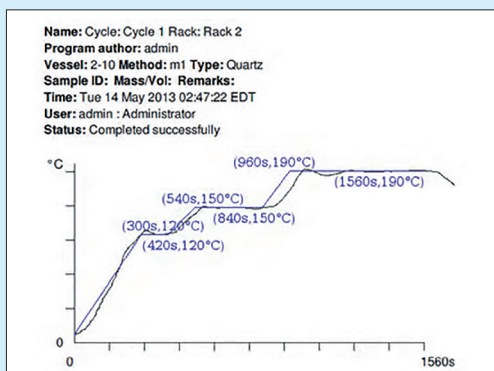


作成したメソッドを各容器ごとに割り当て可能



分解中、各容器の温度を随時モニター

分かりやすい分解結果の確認



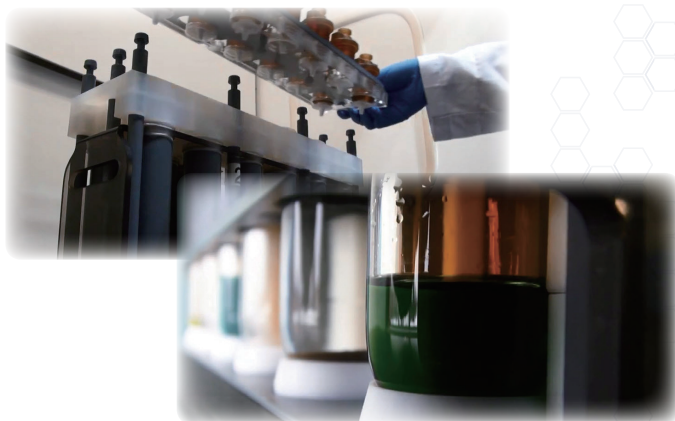
分解後、各ポジションごとの昇温レポートをソフトウェアで確認することができます。このレポートには設定温度に対する実温度（温度センサーが検知した温度）が表示されます。レポートを確認することで分解が上手くいったのかが分かります。また、次に同じサンプルを分解する際の参考になります。

Web Site

サンプルの準備から分解までを動画にしています。(英語)
QRコードまたは下記 URL よりご覧ください。



<https://youtu.be/uyayPsulXyo>



ジーエルサイエンスの HP では、NovaWAVE に関する
説明や資料のダウンロードなどが行えます。



無機分析

マイクロ波アシスト自動脱離分解装置 NovaWAVE

総合カタログ No.31 P.772

揮発性元素分析のための蒸気相、160℃以上の高温分解、硝素、硫酸、塩素、硫黄を利用した高温分解（最大500psi）に対応したシステムです。

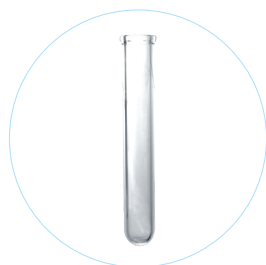
特長

- ① マイクロ波発生源である小型マグネトロン12極搭載（2.45GHz、12 × 250W）により、12検体同時処理が可能
- ② 専用の高温分解容器を採用。PTFE製、石英製、それぞれ50mL、75mLの専用ラックを装備

仕様

耐圧	最大500psi(オートベンディング機能を有するセーフティキャップ採用)
寸法	145 × 75 × 62cm
重量	67kg
電源	200-240VAC (50-60Hz) 、 25A
安全性規格	CE、FCC取得

分解容器



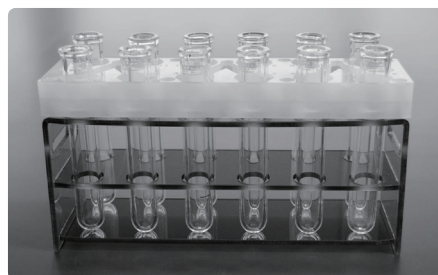
石英容器 (50 mL、75 mL)

- 純度の高い材質を使用
- 透明な容器で分解状態を視認可能
- ランニングコストの低減
- 容器耐圧 1500 psi



PFA 容器 (50 mL、75 mL)

- フッ酸使用可能
- 石英製スリーブを使用



マイクロ波試料分解装置 NovaWAVE システム仕様

■ サンプル容器

容器材質	石英及び PFA
容器容量	50 mL 及び 75 mL

■ NovaWAVE サンプルラック

ラック材質	アルミ・PTFE コーティング
サンプル本数	12 本
大きさ	50 mL 分解容器用サンプルラック H250 × W380 × D100 mm
	75 mL 分解容器用サンプルラック H300 × W380 × D100 mm
重量	6.0 kg

■ マイクロ波試料分解装置 NovaWAVE

電源	単相 200 V / 60 Hz / 30 A
マイクロ波出力	12 × 250 W
最高使用温度	250 °C
周波数	2455 MHz
温度モニター	IR センサー (12 個)
大きさ SA 両ウイング付	H750 × W1450 × D620 mm
SA 片側ウイング付	H750 × W1100 × D620 mm
FA	H750 × W1640 × D790 mm
重量	67 kg (SA 両ウイング付) 115 kg (FA)
インターフェース	USB

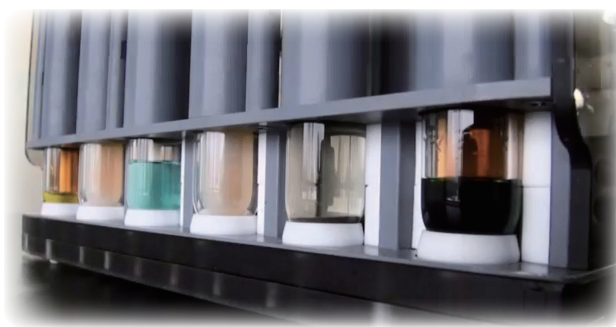
本装置は電波法上、ご利用には高周波利用設備許可又は変更の申請が必要です。仕様は予告なく変更されることがあります。

CERTIFICATIONS



CSA C22.2 No 60950-01 - Electrical Safety - UL 60950-1

NRTL
Listed



総輸入元ジーエルサイエンス株式会社

本社 〒163-1130 東京都新宿区西新宿 6 丁目 22 番 1 号 新宿スクエアタワー 30F
TEL.03(5323)6611 FAX.03(5323)6622 <https://www.gls.co.jp>

- 掲載している価格には消費税が含まれていません。
- 改良のため、形式、価格、仕様などにつきましては予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。
- 本カタログに掲載している会社名及び製品名は、それぞれ該当する各社の商標、または登録商標です。
- 本文中には TM および ® マークは明記してありません。
- データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。また、記載事項につきましては、予告なしに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

総販売元アステック株式会社

アステック株式会社

本社 東京都新宿区高田馬場 4-39-7 高田馬場 21 ビル
TEL03-3366-0811(代) FAX03-3365-5577
URL : <http://www.astechcorp.co.jp/>
Email : unicchem@astechcorp.co.jp
大阪営業所 大阪府大阪市北区本庄東 1-1-10 ライズ 882F
TEL03-6375-5852 FAX06-6375-5845